

■第6回100人アンケート

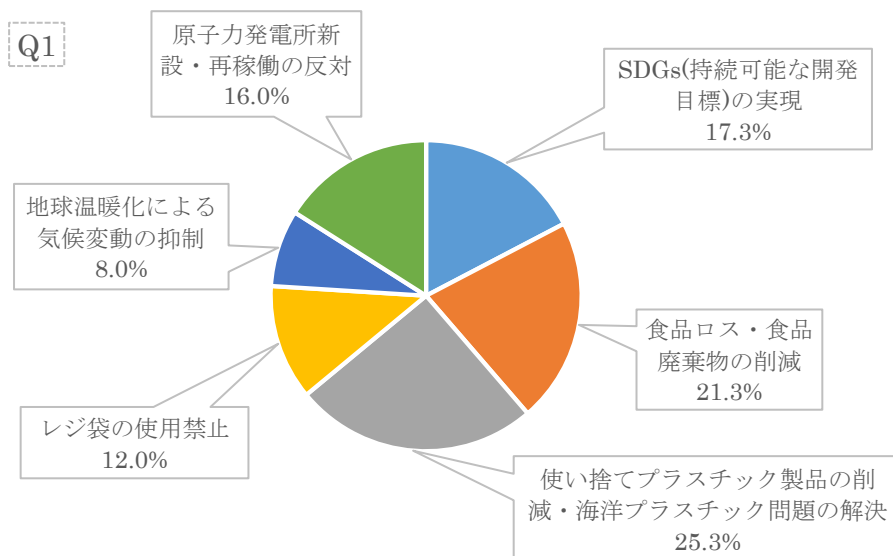
- ・回答者数 75名
- ・性別 女性49名(65.3%)、男性26人(34.7%)
- ・年代 20歳代2名(2.7%)、30歳代3名(4.0%)、40歳代7名(9.3%)、
50歳代16名(21.3%)、60歳代17名(22.7%)、70歳以上30名(40.0%)

連続アンケートの最終回は、皆さまが今後どのように環境問題について行動されるかを伺います。

Q1. 第1回から第5回まで、以下のテーマについて伺ってきました。今後生活の中でご自身として一番気にかけていきたい(行動していける)テーマは何ですか？(回答は1つ)

(n=75)

項目	数	%
SDGs(持続可能な開発目標)の実現	13	17.3
食品ロス・食品廃棄物の削減	16	21.3
使い捨てプラスチック製品の削減・海洋プラスチック問題の解決	19	25.3
レジ袋の使用禁止	9	12.0
地球温暖化による気候変動の抑制	6	8.0
原子力発電所新設・再稼働の反対	12	16.0



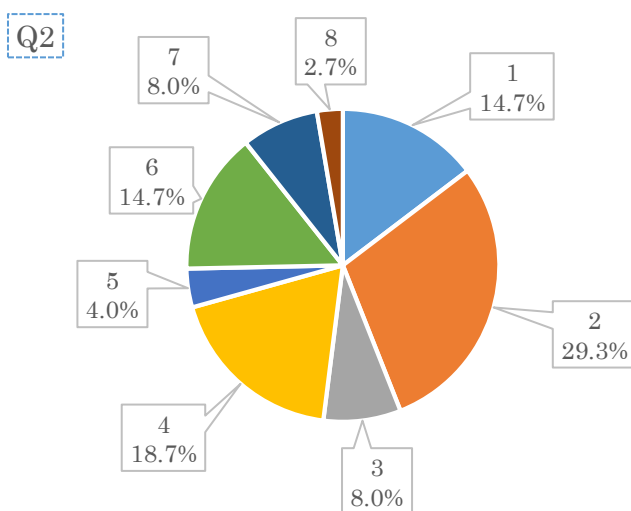
各項目に大きな差はないものの、今後一番気にかけていきたいテーマの第1位は、「使い捨てプラスチック製品の削減・海洋プラスチック問題の解決」です。現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため「緊急事態宣言」が出され、飲食店内での飲食を制限し、宅配・テイクアウトが推奨されています。その容器のほとんどが使い捨てプラスチック製品です。1つの問題を解決するために、もう1つの問題にまったく配慮しないのではなく、行政は常に多角的な視点が必要だと考えます。第2位が「食品ロス・食品廃棄物の削減」、「SDGsの実現」と続きます。

Q2. Q1 を実現するために自分が率先してやっていきたいこと、やっていけることは何ですか？

(回答は 1 つ)

(n=75)

NO	項目	数	%
1	自分の行動に責任を持つこと	11	14.7
2	マイバッグ・マイボトル持参など、自分で幾つかのテーマを決め、必ず実行する	22	29.3
3	周りの人に環境課題等を説明して、一緒に活動するよう促す	6	8.0
4	できることからやるしかない	14	18.7
5	パブコメなど、機会があれば自分の考えを表明する	3	4.0
6	自分一人の活動では環境は変わらないので、仲間を増やす努力をする	11	14.7
7	「やっていきたいこと」を「やっていけること」に変えていく	6	8.0
8	その他	2	2.7



自分が率先してやっていきたいことの第 1 位は、「自分で幾つかのテーマを決め、必ず実行する」で、約 30%の人が選んでいます。必ず実行するのは大変なことです。皆さんの意気込みがうかがえます。「自分の行動に責任を持つこと」「仲間を増やす努力をする」がそれぞれ約 15%です。私たち一人ひとりの行動が社会を変える、地球を変えるのだと自覚することが重要だと考えます。力を合わせていきましょう。

Q3. 当団体(グリーンコンシューマー東京ネット)では、これまでも環境問題に関して行動してきました。あなたは、今後の当団体にどのようなことを期待しますか？(回答は 2 つまで)

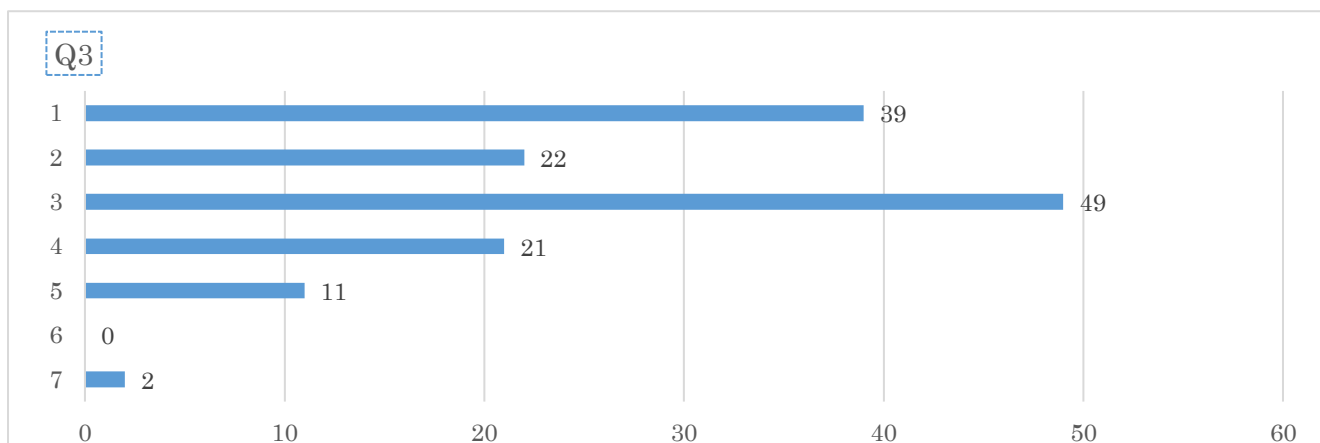
当団体への期待に関して伺いました。半数以上の方が「もっと外に向かって発信し、活動の見える化を重視すること」と「他団体との連携を強化し、活動を展開していくこと」を選択しています。

この 2 点が当団体の弱点であることを改めて確認することができました。

何を求めているのか分かりやすく説明しながら、今までのように地道な活動を重ねていくことも重要であると指摘いただきました。

自由記載でも、たくさんのご意見がありました。これからの運動に参考にさせていただきます。ありがとうございました。

NO	項目	数	%
1	他団体との連携を強化し、活動を展開していくこと	39	52.0
2	今までのように地道な活動を重ねていくこと	22	29.3
3	もっと外に向かって発信し、活動の見える化を重視すること	49	65.3
4	HP を活用し、どんな活動をしているか、何を求めているかを分かりやすく説明していくこと	21	28.0
5	個人では見つけにくい集会やデモ・パレードなどの情報を発信すること	11	14.7
6	自分が関わる団体と一緒に活動するのはどうか?	0	0
7	その他	2	2.7



以上